

The background features a stylized illustration of ostriches in a savanna. A large ostrich is the central focus, with its head and neck visible at the top. Another ostrich is partially visible to the right. In the lower left, a smaller ostrich is shown in profile. The landscape includes rolling hills, sparse trees, and a clear sky. The entire image is rendered in a monochromatic, light gray color scheme.

# 17th JSMD プログラム

一般演題 (ポスター)



## 1. 薬物療法

P-1

(研究発表)

### 精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究 (EGUIDEプロジェクト) 参加施設のうつ病治療に関する診療の質の評価

飯田 仁志<sup>1)</sup>、伊賀 淳一<sup>2)</sup>、安田 由華<sup>3)</sup>、山本 智也<sup>4)</sup>、稲田 健<sup>5)</sup>、渡邊 衡一郎<sup>6)</sup>、橋本 亮太<sup>7,8)</sup>、川崎 弘詔<sup>1)</sup>

- 1) 福岡大学医学部精神医学教室、2) 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座、
- 3) 生きる・育む・輝くメンタルクリニック、4) 大阪大学医学部附属病院薬剤部、
- 5) 東京女子医科大学医学部精神医学講座、6) 杏林大学医学部精神神経科学教室、
- 7) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、8) 大阪大学

P-2

(研究発表)

### 双極Ⅰ型障害患者を対象としたアリピプラゾール持続性注射剤による維持療法の有効性及び安全性：プラセボ対照二重盲検比較試験

川崎 弘詔<sup>1)</sup>、島 智子<sup>2)</sup>、關根 大輔<sup>2)</sup>、森本 恵<sup>2)</sup>、柁井 孝一<sup>2)</sup>、山田 佐紀子<sup>2)</sup>、尾崎 紀夫<sup>3)</sup>

- 1) 福岡大学医学部精神医学教室、2) 大塚製薬株式会社、
- 3) 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学・親と子どもの心療学分野

P-3

(研究発表)

### 抑うつエピソードを伴う双極Ⅰ型障害患者を対象としたルラシドンの第3相試験 (ELEVATE試験) の日本人データの解析

加藤 忠史<sup>1)</sup>、石郷岡 純<sup>2)</sup>、宮島 真理<sup>3)</sup>、渡部 恵<sup>4)</sup>、増田 孝裕<sup>5)</sup>、樋口 輝彦<sup>6,7)</sup>

- 1) 理化学研究所脳神経科学研究センター精神疾患動態研究チーム、2) CNS薬理研究所、
- 3) 大日本住友製薬株式会社臨床企画部、4) 大日本住友製薬株式会社データサイエンス部、
- 5) 大日本住友製薬株式会社メディカルアフェアーズ部、6) 日本うつ病センター、
- 7) 国立精神・神経医療研究センター

P-4

(研究発表)

### 抑うつエピソードを伴う双極Ⅰ型障害患者を対象としたルラシドンの第3相試験のサブグループ解析 (急速交代型/非急速交代型別)

加藤 正樹<sup>1)</sup>、加藤 忠史<sup>2)</sup>、石郷岡 純<sup>3)</sup>、宮島 真理<sup>4)</sup>、渡部 恵<sup>5)</sup>、増田 孝裕<sup>6)</sup>、樋口 輝彦<sup>7,8)</sup>

- 1) 関西医科大学医学部医学科精神神経科学講座、
- 2) 理化学研究所脳神経科学研究センター精神疾患動態研究チーム、3) CNS薬理研究所、
- 4) 大日本住友製薬株式会社臨床企画部、5) 大日本住友製薬株式会社データサイエンス部、
- 6) 大日本住友製薬株式会社メディカルアフェアーズ部、7) 日本うつ病センター、
- 8) 国立精神・神経医療研究センター

P-5

(研究発表)

### 抑うつエピソードを伴う双極Ⅰ型障害患者を対象としたルラシドン52週間投与試験 (ELEVATE試験の日本人継続投与試験) の成績

石郷岡 純<sup>1)</sup>、加藤 忠史<sup>2)</sup>、渡部 恵<sup>3)</sup>、宮島 真理<sup>4)</sup>、増田 孝裕<sup>5)</sup>、樋口 輝彦<sup>6,7)</sup>

- 1) CNS薬理研究所、2) 理化学研究所脳神経科学研究センター精神疾患動態研究チーム、
- 3) 大日本住友製薬株式会社データサイエンス部、4) 大日本住友製薬株式会社臨床企画部、
- 5) 大日本住友製薬株式会社メディカルアフェアーズ部、6) 日本うつ病センター、
- 7) 国立精神・神経医療研究センター

P-6

(研究発表)

## 日本人の双極Ⅰ型障害患者(直近が躁病、軽躁病又は混合性エピソード)を対象としたルラシドン52週間投与試験の成績

石郷岡 純<sup>1)</sup>、加藤 忠史<sup>2)</sup>、宮島 真理<sup>3)</sup>、渡部 恵<sup>4)</sup>、増田 孝裕<sup>5)</sup>、樋口 輝彦<sup>6,7)</sup>

- 1) CNS 薬理研究所、2) 理化学研究所脳神経科学研究センター精神疾患動態研究チーム、
- 3) 大日本住友製薬株式会社臨床企画部、4) 大日本住友製薬株式会社データサイエンス部、
- 5) 大日本住友製薬株式会社メディカルアフェアーズ部、6) 日本うつ病センター、
- 7) 国立精神・神経医療研究センター

P-7

(研究発表)

## ミルタザピン増量によるQT延長を来した重度の摂食不良を伴ったうつ病の一例

小口 芳世

聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室

P-8

(研究発表)

## 双極性障害うつ症状に対するルラシドンの有効性：MADRS 下位項目に対する改善効果の解析

萩 勝彦、野坂 忠史、増田 孝裕

大日本住友製薬メディカルアフェアーズ部

P-9

(研究発表)

## 双極性障害うつ症状治療における非定型抗精神病薬の興奮系/鎮静系有害事象プロファイルの解析

萩 勝彦、野坂 忠史

大日本住友製薬メディカルアフェアーズ部

P-10

(研究発表)

## 安全性速報(ブルーレター)と啓発活動によるラモトリギンの不適正使用事例の変化

山田 和男<sup>1)</sup>、鈴木 映二<sup>1)</sup>、薄井 健介<sup>2,3)</sup>、中川 誠秀<sup>1)</sup>、吉村 淳<sup>1)</sup>、丹生谷 正史<sup>1)</sup>、  
櫻田 久美<sup>1)</sup>、岡田 浩司<sup>2,3)</sup>、宇野 堯<sup>3)</sup>、渡辺 善照<sup>2,3)</sup>

- 1) 東北医科薬科大学医学部精神科学、2) 東北医科薬科大学薬学部病院薬剤学教室、
- 3) 東北医科薬科大学病院薬剤部

P-11

(研究発表)

## 医薬品副作用被害救済制度の公開情報を基にした炭酸リチウムの不適正使用の割合

薄井 健介<sup>1,2)</sup>、岡田 浩司<sup>1,2)</sup>、高橋 愛<sup>2)</sup>、紫桃 裕造<sup>2)</sup>、山田 和男<sup>3)</sup>、鈴木 映二<sup>3)</sup>、  
渡辺 善照<sup>1,2)</sup>

- 1) 東北医科薬科大学薬学部病院薬剤学、2) 東北医科薬科大学病院薬剤部、
- 3) 東北医科薬科大学医学部精神科学

P-12

(実践発表)

## 電気痙攣療法後に炭酸リチウム単剤で長期維持が可能であった治療抵抗性うつ病の1症例

富永 裕崇、堀 輝、吉村 玲児

産業医科大学精神医学教室

P-13

(実践発表)

## 双極性障害治療におけるクエチアピン徐放錠の位置づけ～52週間の追跡調査

藤田 雅也

鈴木神経科病院

## 2. 薬物療法以外の治療法

- P-14** (研究発表) **双極性障害における生活リズム記録表の効果**  
浅岡 聡、中津 啓吾  
草津病院
- P-15** (研究発表) **諦めと統制の所在が精神的健康に及ぼす影響**  
長尾 優香  
立正大学大学院心理学研究科臨床心理学専攻1年
- P-16** (実践発表) **当院の再発防止策作成プログラムの取り組み報告～みんなのメンテナンスシート**  
松本 敦  
しのだの森ホスピタル
- P-17** (研究発表) **サングラス装用による気分安定化研究**  
泉 寿彦、平川 博文、秦野 浩司、河野 健太郎、寺尾 岳  
大分大学医学部附属病院精神科
- P-18** (実践発表) **鍼治療により前頭葉血流増加がみられたうつ病の1症例 -近赤外線スペクトロスコピィを用いて-**  
松浦 悠人<sup>1)</sup>、渡部 芳徳<sup>1,2)</sup>、古賀 義久<sup>1)</sup>、安野 富美子<sup>1)</sup>、坂井 友実<sup>1)</sup>  
1) 東京有明医療大学 保健医療学部 鍼灸学科、2) 医療法人社団慈泉会 市ヶ谷ひもろぎクリニック
- P-19** (実践発表) **寛解後に急速増悪したが、維持電気けいれん療法を行うことで寛解状態を維持することができたうつ病の1例**  
近野 祐介、吉村 玲児  
産業医科大学精神医学教室
- P-20** (実践発表) **遠隔診療でインターネット支援型認知行動療法を実施したうつ病の一例－遠隔認知行動療法の実施及び治療者・患者の視点から－**  
野上 和香<sup>1)</sup>、中川 敦夫<sup>1,2)</sup>、加藤 典子<sup>1)</sup>、佐々木 洋平<sup>1,3)</sup>、堀越 勝<sup>3)</sup>、三村 将<sup>1)</sup>  
1) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、2) 慶應義塾大学医学部臨床研究推進センター、3) 国立研究開発法人国立精神神経・医療研究センター
- P-21** (実践発表) **精神科デイケアにおける双極性障害ピアミーティング実践報告**  
有川 雅俊<sup>1)</sup>、加藤 紳輔<sup>2)</sup>、阿瀬川 孝治<sup>1)</sup>、杉村 めぐみ<sup>1)</sup>、吉家 洋<sup>1)</sup>  
1) 汐入メンタルクリニック、2) ピアサポートグループ在
- P-22** (研究発表) **マウスの不安関連行動に対する吸入リナロールの効果**  
川口 貴子、後藤 玲央、川崎 弘詔  
福岡大学病院精神医学教室
- P-23** (研究発表) **気分障害患者に対する高照度光療法と脳画像研究**  
平川 博文、秦野 浩司、白浜 正直、河野 健太郎、石井 啓義、寺尾 岳  
大分大学医学部精神神経医学講座

P-24

(実践発表)

### 復職支援プログラム卒業生アンケートからみたプログラムの有用性に関する検討

竹下 景子<sup>1)</sup>、宮崎 萌子<sup>1)</sup>、山口 登史子<sup>1)</sup>、大仁田 広恵<sup>1)</sup>、山下 秀一<sup>1)</sup>、徳永 雄一郎<sup>1,2)</sup>  
1) 不知火クリニック、2) 不知火病院

P-25

(研究発表)

### タスクスイッチ課題の反応時間に経頭蓋直流刺激が与える効果の検討：うつ病患者と健常者の比較から

越川 陽介<sup>1)</sup>、西田 圭一郎<sup>1)</sup>、吉村 匡史<sup>1)</sup>、山根 倫也<sup>1,2)</sup>、石井 良平<sup>3)</sup>、木下 利彦<sup>1)</sup>、森島 陽介<sup>4)</sup>  
1) 関西医科大学精神神経科学講座、2) 関西大学大学院心理学研究科、  
3) 大阪府立大学総合リハビリテーション学研究科、  
4) バルン大学精神科病院・トランスレーショナルリサーチセンター

P-26

(研究発表)

### 外来うつ病患者を対象としたマインドフルネス瞑想を取り入れた精神科作業療法プログラムのケースシリーズ研究

山本 敦子、越川 陽介、砂田 尚孝、齊藤 幸子、大畑 貴裕、嶽北 佳輝、加藤 正樹  
関西医科大学精神神経科学教室

P-27

(研究発表)

### 人口知能にヒトのこころは癒せるか？：AI搭載型インターネット認知行動療法の抑うつ者に対するRCTの探索的二次解析

宗 未来<sup>1)</sup>、関沢 洋一<sup>2)</sup>、橋本 空<sup>3)</sup>、渡辺 範雄<sup>4)</sup>  
1) 東京歯科大学市川総合病院精神科、2) 経済産業研究所、  
3) ユナイテッド・ヘルスコミュニケーション、  
4) 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康要因学講座

## 3. 病態・症状・診断・評価

P-28

(研究発表)

### 疼痛を伴う大うつ病性障害患者の単剤治療後における就労可能性の有無と治療開始前の臨床評価尺度の値との関係性

菅原 典夫<sup>1)</sup>、古郡 規雄<sup>1)</sup>、辻 敏永<sup>2)</sup>、林 伸治<sup>2)</sup>、味澤 嘉和<sup>3)</sup>、落合 俊充<sup>3)</sup>、下田 和孝<sup>1)</sup>  
1) 獨協医科大学精神神経医学講座、2) 塩野義製薬株式会社メディカルアフェアーズ部、  
3) 塩野義製薬株式会社解析センター

P-29

(研究発表)

### 寛解後のうつ病における認知機能の推移と抗うつ薬の影響について

吉成 尚人、前嶋 仁、鈴木 利人、馬場 元  
順天堂大学医学部精神医学教室、Juntendo University Mood disorder Project (JUMP)

P-30

(研究発表)

### うつ病における脳内MAO-B密度を特異的なPETリガンド[11C]SL2511.88を用いての可視化研究

森口 翔<sup>1,2)</sup>、Jeffrey Meyer<sup>2)</sup>、Neil Vasdev<sup>2)</sup>、Alan Wilson<sup>2)</sup>、Pablo Rusjan<sup>2)</sup>  
1) 慶應義塾大学精神神経科学教室、2) トロント大学

P-31

(研究発表)

### 非定型うつ病の症状に関連する認知行動的要因：横断研究による標的変数の検討

古川 洋和、佐藤 政代、大西 礼華、土橋 美咲  
鳴門教育大学大学院心理臨床コース

P-32

(研究発表)

**時間知覚の概日ダイナミクスは覚醒療法の抗うつ効果を予測する**吉池 卓也<sup>1,2,3)</sup>、栗山 健一<sup>1,2)</sup>、山田 尚登<sup>2)</sup>、Francesco Benedetti<sup>3)</sup>

- 1) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部、
- 2) 滋賀医科大学精神医学講座、
- 3) Psychiatry and Clinical Psychobiology, Division of Neuroscience, Scientific Institute and University San Raffaele, Milan

P-33

(研究発表)

**維持電気けいれん療法を導入したうつ病症例の臨床的特徴について**工藤 駿、内田 貴仁、西田 晴菜、高宮 彰紘、平野 仁一、菊地 俊暁、三村 將  
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

P-34

(研究発表)

**メランコリア (内因性うつ病) に特徴的な主観的症状を検証する**玉田 有<sup>1,2,6)</sup>、井上 猛<sup>2)</sup>、関根 篤<sup>3)</sup>、戸田 裕之<sup>4)</sup>、武島 稔<sup>2,5)</sup>、佐々木 雅明<sup>6)</sup>、大前 晋<sup>6)</sup>

- 1) 虎の門病院分院精神科、2) 東京医科大学精神医学分野、3) ケイメンタルクリニック、
- 4) 防衛医科大学校精神科学講座、5) 柴田病院、6) 虎の門病院精神科

P-35

(研究発表)

**気分障害患者における自律神経系機能の検討**古賀 賀恵<sup>1)</sup>、小松 陽子<sup>2)</sup>、木村 博士<sup>3)</sup>、篠崎 亮<sup>3)</sup>、秀瀬 真輔<sup>1)</sup>、清水 祐輔<sup>2)</sup>、  
石丸 園子<sup>2)</sup>、功刀 浩<sup>1)</sup>

- 1) 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第三部、
- 2) 東洋紡(株)総合研究所快適性工学センター、3) ユニオンツール(株)開発部

P-36

(研究発表)

**うつ病患者の血清 TDP-43 濃度とアパシーとの関連性**市川 朝也<sup>1)</sup>、馬場 元<sup>1,2)</sup>、前嶋 仁<sup>1)</sup>、島野 嵩久<sup>1)</sup>、井上 恵<sup>1)</sup>、安田 誠太<sup>1)</sup>、宿沢 弘子<sup>1)</sup>、  
済田 貴生<sup>1,2)</sup>、夏目 俊太郎<sup>1,2)</sup>、吉成 尚人<sup>1,2)</sup>、鈴木 利人<sup>1,2)</sup>、新井 平伊<sup>1,2)</sup>

- 1) 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院 Juntendo University Mood Disorder Project (JUMP)、
- 2) 順天堂大学大学院医学部研究科精神・行動科学

P-37

(研究発表)

**うつ病における血清アミロイドβタンパクの推移：第3報**夏目 俊太郎<sup>1)</sup>、馬場 元<sup>2)</sup>、前嶋 仁<sup>2)</sup>、島野 嵩久<sup>2)</sup>、市川 朝也<sup>4)</sup>、安田 誠太<sup>3)</sup>、  
宿澤 弘子<sup>2)</sup>、済田 貴生<sup>1)</sup>、鈴木 利人<sup>2)</sup>

- 1) 順天堂大学東京江東高齢者医療センター、2) 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院、
- 3) 順天堂医院、4) 順天堂大学医学部附属浦安病院

P-38

(研究発表)

**αシヌクレインと臨床症状の関係性について**済田 貴生<sup>1,2)</sup>、馬場 元<sup>1,2)</sup>、前嶋 仁<sup>1,2)</sup>、市川 朝也<sup>1,2)</sup>、安田 誠太<sup>1,2)</sup>、夏目 俊太郎<sup>1,2)</sup>、  
鈴木 利人<sup>1,2)</sup>

- 1) 順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学、
- 2) 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院 Juntendo University Mood Disorder Project (JUMP)

P-39

(研究発表)

**産後うつ病患者における Voxel-based morphometry (VBM) 解析**福本 健太郎<sup>1)</sup>、佐々木 由梨<sup>2)</sup>、山下 典生<sup>3)</sup>、川村 花恵<sup>2)</sup>、本多 笑奈<sup>1)</sup>、小山 理恵<sup>2)</sup>、  
佐々木 真理<sup>3)</sup>、馬場 長<sup>2)</sup>、大塚 耕太郎<sup>1)</sup>

- 1) 岩手医科大学 神経精神科学講座、2) 岩手医科大学 産婦人科学講座、
- 3) 岩手医科大学 医歯薬総合研究所 超高磁場MRI診断・病態研究部門

P-40

(研究発表)

**年齢群別にみたうつ病における気質・性格と治療反応性**

森 敬統、馬場 元、前嶋 仁、吉成 尚人、鈴木 利人

順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院

P-41

(研究発表)

## DV相談窓口・DVシェルター利用者のうつ症状比較

大江 美佐里、小林 雄大、石田 哲也、千葉 比呂美、松岡 美智子、内村 直尚  
久留米大学医学部神経精神医学講座

P-42

(実践発表)

## 幼児期の傷つき体験(愛着障害、発達性トラウマ障害)が自尊心の欠如を招き難治化を示していたうつ病症例の治療

島松 まゆみ<sup>1)</sup>、杉本 浩利<sup>1)</sup>、後藤 玲央<sup>2)</sup>、松下 満彦<sup>1,2)</sup>、徳永 雄一郎<sup>1,2)</sup>  
1) 不知火病院、2) 福岡大学福岡大学医学部精神医学教室

P-43

(研究発表)

## 難治化したうつ状態の背景にASDとADHDの併存がみられた一例

栗原 真理子<sup>1)</sup>、大江 悠樹<sup>1)</sup>、坪井 貴嗣<sup>1)</sup>、高江洲 義和<sup>1)</sup>、片桐 建志<sup>1)</sup>、野崎 和博<sup>1)</sup>、  
今村 弥生<sup>1)</sup>、早坂 友成<sup>2)</sup>、二田 未来<sup>2)</sup>、青鹿 由紀<sup>3)</sup>、小野田 直子<sup>4)</sup>、渡邊 衡一郎<sup>1)</sup>  
1) 杏林大学医学部神経科学教室、2) 杏林大学保健学部作業療法学科、  
3) 杏林大学医学部付属病院精神神経科、4) 医療法人社団慶神会 武田病院

P-44

(実践発表)

## 水中毒から浸透圧性脱髄症候群を来し抑うつ症状を呈したと考えられる症例

伊藤 誉人、星川 大、定村 佳、中根 真吾、近野 祐介、小山 敦史、香月 あすか、  
吉村 玲児  
産業医科大学病院

P-45

(研究発表)

## 双極性障害患者における自動車運転技能評価

山口 亜希子<sup>1)</sup>、岩本 邦弘<sup>1)</sup>、藤田 潔<sup>2)</sup>、横山 太範<sup>3)</sup>、秋山 剛<sup>4)</sup>、五十嵐 良雄<sup>5)</sup>、  
尾崎 紀夫<sup>1)</sup>  
1) 名古屋大学大学院医学系研究科、2) 桶狭間病院、3) さっぽろ駅前クリニック、  
4) NTT東日本関東病院、5) メディカルケア虎ノ門

P-46

(研究発表)

## 双極性障害において幼少期ストレスのサブタイプがFKBP5 SNPとの交互作用でDNAメチル化に与える影響

斉藤 拓<sup>1)</sup>、戸田 裕之<sup>1)</sup>、古賀 農人<sup>1)</sup>、長峯 正典<sup>2)</sup>、吉野 相英<sup>1)</sup>  
1) 防衛医科大学校精神科学講座、2) 防衛医科大学校防衛医学研究センター行動科学研究部門

P-47

(研究発表)

## 睡眠習慣の相違によるうつ状態と慢性疲労との弁別

中川 誠秀<sup>1,2)</sup>、竹内 光<sup>2)</sup>、瀧 靖之<sup>2)</sup>、野内 類<sup>2)</sup>、関口 敦<sup>3)</sup>、宮内誠 カルロス<sup>2)</sup>、  
飯塚 邦夫<sup>4)</sup>、横山 諒一<sup>5)</sup>、塙 杉子<sup>2)</sup>、榊 浩平<sup>2)</sup>、ジョン ビヨンジョン<sup>2,6)</sup>、川島 隆太<sup>2)</sup>  
1) 東北医科薬科大学精神科学、2) 東北大学加齢医学研究所、  
3) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所行動医学研究部、  
4) 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野、5) 神戸大学医学部、  
6) 東北大学大学院国際文化研究科

P-48

(研究発表)

## 一般成人における希望に対する人口統計学的因子、小児期被養育体験、ライフイベントの複合的影響

武藤 健太郎、榊谷 次郎、市来 真彦、井上 猛  
東京医科大学病院

P-49

(研究発表)

**自閉スペクトラム症併存の有無による、うつ状態の脳内ネットワークについて**中村 敏範<sup>1)</sup>、金子 智喜<sup>2)</sup>、木藤 善浩<sup>3)</sup>、藤永 康成<sup>2)</sup>、鷲塚 伸介<sup>4)</sup>1) 信州大学医学部附属病院 精神科、2) 信州大学医学部画像医学教室、  
3) 信州大学医学部附属病院 放射線部、4) 信州大学医学部精神医学教室

P-50

(研究発表)

**質問紙尺度と血漿ホスホエタノールアミン (PEA) 濃度による抑うつ評価指標の開発**大橋 由明<sup>1)</sup>、戸松 創<sup>1)</sup>、松永 美希<sup>2)</sup>

1) ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社、2) 立教大学現代心理学部心理学科

P-51

(研究発表)

**完全寛解のうつ病患者における不適応的なストレスコーピングと前頭葉機能障害**

辻井 農亜、三川 和歌子、安達 融、阪中 聡一郎、廣瀬 智之、土屋 有希、白川 治

近畿大学医学部精神神経科学教室

P-52

(研究発表)

**気分障害のバイオマーカーとしての血清中血小板由来増殖因子 (PDGF-BB) に関する多施設共同研究**井手本 啓太<sup>1)</sup>、石間 環<sup>2)</sup>、新津 富央<sup>1)</sup>、畑 達記<sup>1)</sup>、小田 靖典<sup>1)</sup>、木村 敦史<sup>1)</sup>、  
亀野 陽亮<sup>3)</sup>、蓬萊 政<sup>4)</sup>、山森 英長<sup>5,6)</sup>、戸田 重誠<sup>7,8)</sup>、菱本 明豊<sup>4,9)</sup>、橋本 亮太<sup>5,6)</sup>、  
中込 和幸<sup>10)</sup>、伊豫 雅臣<sup>1,2)</sup>、橋本 謙二<sup>2)</sup>1) 千葉大学大学院医学研究院精神医学、2) 千葉大学社会精神保健教育研究センター病態解析部門、  
3) 浜松医科大学医学部精神医学講座、4) 神戸大学大学院医学研究科精神医学分野、  
5) 大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学講座精神医学、  
6) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、  
7) 金沢大学医薬保健学域医学類精神行動科学、8) 昭和大学医学部精神医学講座、  
9) 横浜市立大学大学院医学研究科精神医学、10) 国立精神・神経医療研究センター病院

P-53

(研究発表)

**ポスト・フェストウムの時間制とCamouflaged Depressionへの時間学的、現象学的一考察：抑うつ感・パラノイア感と被拒絶感**杉山 崇<sup>1,2,3)</sup>

1) 神奈川大学大学院人間科学研究科、2) 神奈川大学人間科学部、3) 神奈川大学心理相談センター

P-54

(研究発表)

**安静時脳機能結合を用いたうつ病と双極性障害の判別**市川 奈穂<sup>1)</sup>、岡田 剛<sup>2)</sup>、高村 真広<sup>1)</sup>、横山 仁史<sup>2)</sup>、吉野 敦雄<sup>2)</sup>、増田 慶一<sup>2)</sup>、  
加藤 美幸<sup>2)</sup>、上敷領 俊晴<sup>2)</sup>、Alan Fermin<sup>1)</sup>、板井 江梨<sup>1)</sup>、佐藤 陽介<sup>2)</sup>、山脇 成人<sup>1)</sup>、  
岡本 泰昌<sup>1,2)</sup>

1) 広島大学脳・こころ・感性科学研究センター、2) 広島大学大学院医系科学研究科精神神経医科学

P-55

(研究発表)

**自記式評価票 (DMX-12) による抑うつ性混合状態のスクリーニング**

座間味 優、新里 輔鷹、近藤 毅

琉球大学大学院医学研究科精神医学病態講座

## 4. ライフサイクルとうつ病

P-56

(研究発表)

### ASD傾向を持つ大学生の抑うつ状態に対する対人関係カウンセリングの長期的効果の検討

上田 ひとみ<sup>1)</sup>、竹谷 怜子<sup>2)</sup>、澤村 勇希<sup>1)</sup>、寺本 航起<sup>1)</sup>、川上 卓朗<sup>1)</sup>、坂根 遥<sup>1)</sup>、山本 亜実<sup>1)</sup>、辻井 農亜<sup>3)</sup>、白川 治<sup>3)</sup>、小野 久江<sup>1,2)</sup>

1) 関西学院大学大学院文学研究科総合心理科学専攻心理科学領域、  
2) 関西学院大学文学部総合心理科学科、3) 近畿大学医学部精神神経科学教室

P-57

(研究発表)

### ADHD傾向を持つ大学生の抑うつ状態に対する対人関係カウンセリングの長期的効果の検討

澤村 勇希<sup>1)</sup>、竹谷 怜子<sup>2)</sup>、上田 ひとみ<sup>1)</sup>、寺本 航起<sup>1)</sup>、川上 卓朗<sup>1)</sup>、坂根 遥<sup>1)</sup>、山本 亜実<sup>1)</sup>、辻井 農亜<sup>3)</sup>、白川 治<sup>3)</sup>、小野 久江<sup>1,2)</sup>

1) 関西学院大学大学院文学研究科総合心理科学専攻心理科学領域、  
2) 関西学院大学文学部総合心理科学科、3) 近畿大学医学部精神神経科学教室

P-58

(研究発表)

### うつ病患者における認知機能と amyloid $\beta$ oligomer に関する研究

安田 誠太、馬場 元、前嶋 仁、市川 朝也、夏目 俊太郎、清田 貴生、吉成 尚人、鈴木 利人

順天堂大学医学部精神医学教室

P-59

(研究発表)

### 病相反復を抱えながら職業継続に至っている双極性障害者のレジリエンス獲得の様相

長谷川 雅美、安達 寛人

新潟県立看護大学地域生活看護学領域精神看護学

## 5. 自殺予防

P-60

(実践発表)

### 当院での自殺予防対策の取り組み ～潜在化していた希死念慮の抽出とトリアージの課題～

荒木 健介

不知火病院

## 6. 産業メンタルヘルス

P-61

(研究発表)

### うつ病休職者における唾液中コルチゾールと行動活性化、非機能的認知および職場復帰困難感との関連

松永 美希<sup>1)</sup>、後藤 聡<sup>2)</sup>、樋口 麻衣子<sup>2)</sup>、岩山 孝幸<sup>3)</sup>、野呂 泰基<sup>3)</sup>、藤田 礼香<sup>3)</sup>、野中 和俊<sup>4)</sup>、戸張 光江<sup>4)</sup>、柳原 茉美佳<sup>4)</sup>、漆山 健太<sup>3)</sup>、勝倉 沙央理<sup>3)</sup>、成田 智貴<sup>3)</sup>

1) 立教大学現代心理学部心理学科、2) 立教大学理学部生命理学科、  
3) 立教大学大学院現代心理学研究科、4) 大宮すずのきクリニック

- P-62** (実践発表) **精神科リワークデイケアにおけるリラクゼーションプログラムの活用に関する予備調査**  
 緑川 綾  
 東京慈恵会医科大学大学院 看護学専攻博士後期課程
- P-63** (研究発表) **日本全国における水道水リチウムと自殺率**  
 釘宮 毅、石井 啓義、河野 健太郎、兼久 雅之、秦野 浩司、平川 博文、寺尾 岳  
 大分大学医学部附属病院精神神経医学講座
- P-64** (研究発表) **デスクワーク労働者における職場環境や生活習慣とうつ症状の関連**  
 志賀 希子<sup>1)</sup>、吉村 道孝<sup>1)</sup>、北沢 桃子<sup>1)</sup>、泉 啓介<sup>2)</sup>、湊 和修<sup>1)</sup>、三村 将<sup>1)</sup>、  
 岸本 泰士郎<sup>1)</sup>  
 1) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室、2) 慶應義塾大学医学部リウマチ・膠原病内科

## 7. 家族への支援

- P-65** (研究発表) **双極性障害の家族が抱える困難に関する質的検討**  
 小坂 舞、田々野 李恵、中津 啓吾  
 草津病院

## 8. 症例検討

- P-66** (実践発表) **リネゾリドとベンラファキシンの併用でセロトニン症候群を呈したと考えられる一例**  
 中根 真吾、富永 裕崇、古澤 隆太郎、吉村 玲児  
 産業医科大学精神医学教室
- P-67** (実践発表) **高齢発症の難治性うつ病患者が緊張病症状を呈し、修正型電気けいれん療法が奏功した1例**  
 宮川 俊、小西 勇輝、富永 裕崇、吉村 玲児  
 産業医科大学精神医学教室
- P-68** (実践発表) **うつ状態の背景にある注意欠如・多動性障害を治療することで職場復帰できた1症例**  
 小西 勇輝、松元 知美、吉村 玲児  
 産業医科大学精神医学教室

## 9. その他

- P-69** (研究発表) **飲料水に含まれる微量なリチウムは犯罪を予防しうるか？**  
 田北 不空<sup>1)</sup>、石井 啓義<sup>2)</sup>、平川 博文<sup>2)</sup>、寺尾 岳<sup>2)</sup>  
 1) 大分県立病院精神医療センター、2) 大分大学医学部精神神経医学講座

P-70

(研究発表)

## 日本うつ病学会「うつ病看護ガイドライン」(その1)

野末 聖香<sup>1)</sup>、杉山 暢宏<sup>2)</sup>、長谷川 雅美<sup>3)</sup>、岡田 佳詠<sup>4)</sup>、香月 富士日<sup>5)</sup>、玉木 敦子<sup>6)</sup>、宇佐美 しおり<sup>7)</sup>、小坂橋 喜久代<sup>8)</sup>、佐藤 寧子<sup>9)</sup>、小高 恵実<sup>10)</sup>、河野 佐代子<sup>11)</sup>

- 1) 慶應義塾大学看護医療学部、2) 信州大学医学部、3) 新潟県立看護大学看護学部、
- 4) 国際医療福祉大学成田看護学部、5) 名古屋市立大学大学院看護学研究科、
- 6) 神戸女子大学看護学部、7) 四天王寺大学看護学部・看護実践開発研究センター、
- 8) 前京都橘大学看護学部、9) 独立行政法人国立病院機構東京医療センター、
- 10) 上智大学総合人間科学部、11) 慶應義塾大学病院看護部

P-71

(研究発表)

## 日本うつ病学会「うつ病看護ガイドライン」(その2)

野末 聖香<sup>1)</sup>、杉山 暢宏<sup>2)</sup>、長谷川 雅美<sup>3)</sup>、岡田 佳詠<sup>4)</sup>、香月 富士日<sup>5)</sup>、玉木 敦子<sup>6)</sup>、宇佐美 しおり<sup>7)</sup>、小坂橋 喜久代<sup>8)</sup>、佐藤 寧子<sup>9)</sup>、小高 恵実<sup>10)</sup>、河野 佐代子<sup>11)</sup>

- 1) 慶應義塾大学看護医療学部、2) 信州大学医学部、3) 新潟県立看護大学看護学部、
- 4) 国際医療福祉大学成田看護学部、5) 名古屋市立大学大学院看護学研究科、
- 6) 神戸女子大学看護学部、7) 四天王寺大学看護学部・看護実践開発研究センター、
- 8) 前京都橘大学看護学部、9) 独立行政法人国立病院機構東京医療センター、
- 10) 上智大学総合人間科学部、11) 慶應義塾大学病院看護部

P-72

(研究発表)

## 「EGUIDE プロジェクト」受講者アンケートの解析から

小笠原 一能<sup>1)</sup>、長谷川 尚美<sup>2)</sup>、三浦 健一郎<sup>2)</sup>、松本 純弥<sup>2)</sup>、尾崎 紀夫<sup>3)</sup>、稲田 健<sup>4)</sup>、渡邊 衡一郎<sup>5)</sup>、橋本 亮太<sup>2)</sup>、EGUIDE プロジェクトチーム<sup>6)</sup>

- 1) 名古屋大学大学院医学系研究科 精神医療学寄附講座、
- 2) 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部、
- 3) 名古屋大学大学院医学系研究科 精神医学・親と子どもの心療学分野、
- 4) 東京女子医科大学医学部 精神医学講座、5) 杏林大学医学部 精神神経科学教室、
- 6) <https://byoutai.ncnp.go.jp/eguide/eguide-team.html>

P-73

(実践発表)

## 双極性障害当事者の考える「よい主治医」- アンケート調査結果の報告

鈴木 映二<sup>1)</sup>、磯谷 悠子<sup>2)</sup>、丹生谷 正史<sup>1)</sup>、保科 新悟<sup>2)</sup>、山田 和男<sup>1)</sup>

- 1) 東北医科薬科大学医学部精神科学教室、2) 東北医科薬科大学病院

P-74

(研究発表)

## TEMPS-A の各気質と TCI 気質・性格との関連

伊藤 俊一郎、榎屋 二郎、市来 真彦、井上 猛  
東京医科大学病院メンタルヘルス科

P-75

(研究発表)

## Brain network and TNF- $\alpha$ in drug-naive, first-episode major depressive disorder

吉村 玲児<sup>1)</sup>、香月 あすか<sup>1)</sup>、Hoa Nguyen<sup>1)</sup>、池ノ内 篤子<sup>1)</sup>、掛田 伸吾<sup>2)</sup>、興梠 征典<sup>3)</sup>

- 1) 産業医科大学精神医学、2) 弘前大学医学部放射線診断学、3) 産業医科大学放射線科学